

重要！

取り付け前に必ず読むこと

A. ルートロン製品には、正しいルートロン製機器・トランスのみ接続すること。

B. 国内関連電気法規に従い、取付すること。

C. 取付環境: 周囲温度0℃ - 40℃、相対湿度0 - 90%、結露なき場所、一般屋内専用。

D. ブラインドを動かしたときに物(窓の金具、クランクハンドル、ロックレバー、カーテンなど)に当たらないよう、十分な間隔を空けて取付すること。

⚠危険: 落下の危険あり。ブラインドは、本取り付けガイドに従って確実に取り付けること。正しく取り付けられていない場合、大ケガの原因になることがあります。

1

取り付けの準備

1.1 必要工具:

•メジャー

•電動ドリル

•水準器

•ドリルビット

•ワイヤーカッター/ストリッパー

•プラスドライバー

EDU model: QSSB-L30T10

24-36 V==

60 W

Lift: 17.5 in-lb (2 N·m)

Tilt: 5 in-lb (0,56 N·m)

1.2 内容物:

(1) Lutron® ブラインド本体

取り付けビス
(各ブラケットに 2 本)

ブラケット 2 ~ 5 個
(ブラインド幅によって数が異なります。固定ウェッジ下の表をご参照ください。)

固定ウェッジ
(2)

ブラインド幅

48 インチ (1219 mm) 以下

48 1/8 インチ (1222 mm) ~ 72 インチ (1829 mm)

72 1/8 インチ (1832 mm) ~ 96 インチ (2438 mm)

96 1/8 インチ (2442 mm) 以上

ブラケット数

2

3

4

5

(1) 4 ピン
ターミナルブロック

2

取り付け方法

2.1 窓枠の内側に付ける場合:

A. ブラインドの電子ドライブユニット (EDU) 側の壁またはジャムから配線ケーブルを出します (図では EDU が左側にくることを想定していますが、右側でも構いません)。

B. ケーブルを 300 ~ 450 mm 程露出させておきます。

C. 窓のクランクハンドルなど既に付いている金具と干渉しないように取り付け位置を決めます。

D. 付属の取り付けビスなど適切な留め具で窓の上枠の内側にブラケットを取り付けます。

E. 水準器を使ってブラケットどうしの位置を揃えます。

ブラインドの幅

178 mm

一番外側のブラケットの取付位置

ブラインドの端から 178 mm 内側

178 mm

残りのブラケット (1 ~ 3 個) は一番外側のブラケットから等間隔に取り付ける。
ただし、ヘッドレールの部品と干渉してしまう場合は位置をずらしても可。

2.2 窓枠にかぶせて取り付ける場合:

A. ブラインドの電子ドライブユニット (EDU) 側の壁から配線ケーブルを出します (図では EDU が左側にくることを想定していますが、右側でも構いません)。

B. ケーブルを 300 ~ 450 mm 程露出させておきます。

C. 窓のクランクハンドルなど既に付いている金具と干渉しないように取り付け位置を決めます。

D. 付属の取り付けビスなど適切な留め具で窓の上枠の前面にブラケットを取り付けます。

E. 窓枠に角度や丸みがついている場合は、ブラケットを支えるために、図のようにブラケットの裏側に追加のビス (非付属品) を取り付けます。

F. 水準器を使ってブラケットどうしの位置を揃えます。

ブラインドの幅

178 mm

一番外側のブラケットの取付位置

ブラインドの端から 178 mm 内側

178 mm

残りのブラケット (1 ~ 3 個) は一番外側のブラケットから等間隔に取り付ける。
ただし、ヘッドレールの部品と干渉してしまう場合は位置をずらしても可。

2.3 窓枠上方の壁面に取り付ける場合:

A. ブラインドの電子ドライブユニット (EDU) 側の壁から配線ケーブルを出します (図では EDU が左側にくることを想定していますが、右側でも構いません)。

B. ケーブルを 300 ~ 450 mm 程露出させておきます。

C. 窓のクランクハンドルなど十分な間隔を取れるように取り付け位置を決めます。

D. 付属の取り付けビスなど適切な留め具で窓の上枠上方の壁面にブラケットを取り付けます。

E. 窓枠が突き出ている場合は、壁面と窓枠の段差を埋めるために、ブラケットの裏側にスペーサー (非付属品) を図のように取り付けます。

F. 水準器を使ってブラケットどうしの位置を揃えます。

ブラインドの幅

178 mm

一番外側のブラケットの取付位置

ブラインドの端から 178 mm 内側

178 mm

残りのブラケット (1 ~ 3 個) は一番外側のブラケットから等間隔に取り付ける。
ただし、ヘッドレールの部品と干渉してしまう場合は位置をずらしても可。

3

ブラインドの取り付け

3.1 ブラケットへのヘッドレールの取り付け:

A. 操作ボタンパネルを室内側に向けた状態で、ヘッドレール前面上部のかぎ部をブラケット前面の突起に引っ掛けます。

B. ヘッドレールを窓側に押してブラケットを押し込み、ヘッドレールの背面を弧を描くように持ち上げて、ブラケット背面のフックの奥に差し込みます。

C. 力を緩め、ブラケットを手前に戻すと、ヘッドレール背面上部のかぎ部がブラケット背面のフックに掛かります。

D. ヘッドレールが水平で、すべてのブラケットとしっかり噛み合っていることを確認します。

E. ヘッドレールと両端の各ブラケットとの間に固定ウェッジを差し込み、ヘッドレールがぐらつかないよう固定します。

F. 先端がヘッドレール背面上部のかぎ部にかぶさるようにカチッとほめるまで、固定ウェッジを押し込みます。

ヘッドレールとブラケットの側面図
(分かりやすくするために
エンドキャップなどは省略しています)

室内側

窓側

操作ボタン

固定ウェッジ

3.2 ボトムバーの水平調整(オプション):

ボトムバーは、窓の下枠と平行になるよう左右の水平調整が必要になることがあります。調整する際は、まずヘッドレールが水平になっているか確認してください。

NOTE: 水平調整をする場合は、ボトムバーが下がっている側の昇降コードを短くします。昇降コードを伸ばして調整することはできません。

ラダーテープ

ラダーテープ仕様のブラインドの場合、昇降コードを調整するにはテープをボトムバーから外す必要があります。テープを留める方法はボトムバーの材質によって異なります。

木製のボトムバーの場合: テープは鋸で留められています。その内の 1 本の頭をマイナスドライバーで慎重に引き抜きます。鋸が曲がらないよう、頭の両側を交互に少しずつ引き抜いてください。鋸を 1 本外すとゆとりが生まれ、テープをずらして昇降コードを調整できるようになります。

金属製のボトムバーの場合: テープはクリップで留められています。小型のマイナスドライバーでクリップの片側を慎重に引き抜いてください。

側面図

テープ

木製

金属製

鋸

クリップ

昇降コードの長さの調整

A. ボトムバーの底面にある穴の内、バーが下がっている側の端に最も近い穴からプラグまたはキャップを取り外します。
NOTE: 右図のように、コードを穴に通すプラグを使用しているモデルと、穴のないキャップを使用しているモデルがあります。

B. ボトムバーを持ち上げて、昇降コードが垂れ下がるようにします。

C. 必要であれば、プラグの上から小型のマイナスドライバーを差し込み、昇降コードの結び目と調整スリーブを押し出してください (キャップを使用しているモデルの場合は、このステップは飛ばしてください)。

D. 調整スリーブに巻き付いているコードを解き、スリーブを上スライドしてボトムバーを上げます。

E. コードを調整スリーブにきつく巻きつけます。

F. プラグ使用モデルの場合は、調整スリーブをプラグの中に入れて固定します。

G. プラグまたはキャップをボトムバーに装着します。

H. ラダーテープ仕様のブラインドの場合は、外したテープを留め直します。

ボトムバー

昇降コード

調整スリーブ

プラグまたはキャップ

4

基本的な配線

4.1 ケーブルの準備:

⚠ 警告: 感電の危険あり。ターミナルブロックに配線する際は、あらかじめ電源ブレーカーをオフにしておくか、ヒューズを抜いておいてください。これを行わなかった場合、死亡したり重傷を負ったりすることがあります。

a. 壁から出ているケーブルの被覆を 51 mm 分剥きます。

b. 各線材の絶縁材を 6 mm 分剥きます。

51 mm

6 mm

図では心線が 4 本ありますが、心線の数や色は異なる場合があります。

4.2 4 ピンターミナルブロックへの配線:

a. ケーブルを 4 ピンターミナルブロック (付属品) に差し込み、小型のマイナスドライバーを使用して心線をネジでしっかりと固定します。絶縁材を挟まないよう、心線の露出部を 2 mm 分残しておいてください。

黒

赤

紫

白

コモン

24 V==

MUX

MUX

約 2 mm

NOTE: 端子 3 と 4 は有線制御/通信専用で、無線制御装置では使用しません。

4.3 ブラインドの EDU との接続:

ブラインドの EDU コネクターと 4 ピンターミナルブロックを接続します。

NOTE: 可動部品と干渉しないように、ケーブルを取り回して固定してください。

ブラインドの EDU コネクター

5

上下限の設定

上限と下限はブラインドの昇降範囲を定めるものです。傾斜限度はスラットの回転動作の範囲を定めるものです。これらの限度はすべて窓の計測結果を基に出荷時に設定されていますが、現場での調整も可能です。設置後は直ちに上下限設定をチェックし、上下限位置が窓と合っているか確認することを推奨します。

5.1 上限設定

A. オープンボタンを 1 回押します。グリーン LED が点灯します。

B. ブラインドがお好みの上限位置に到達するまでいずれかの矢印ボタンを長押しします。

C. ブラインドがお好みの上限位置に到達したらオープンボタンを長押しします。グリーン LED が点滅したら上限位置が記憶されます。

1 回押す

CLOSE OPEN DOWN UP

Tilt Mode

↑ または ↓ を長押し

長押し

LUTRON®

Lutron Electronics Co., Inc.
7200 Suter Road
Coopersburg, PA 18036-1299, U.S.A.

05/2015

P/N 045480 Rev. A

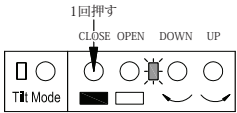
© Lutron is a registered trademark of Lutron Electronics Co., Inc.

次ページへ

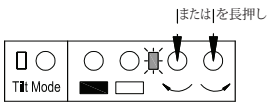
5 上下限の設定 (1ページからの続き)

5.2 下限設定

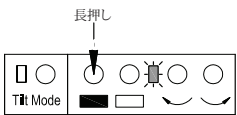
A. クローズボタンを1回押します。グリーンLEDが点灯します。



B. ブラインドがお好みの下限位置に到達するまでいずれかの矢印ボタンを長押しします。



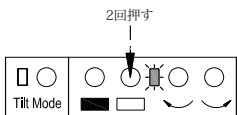
C. ブラインドがお好みの下限位置に到達したらクローズボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したら下限位置が記憶されます。



5.3 上下限設定の確認

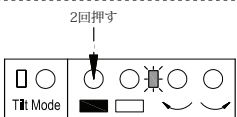
上限

上限設定を確認するにはオープンボタンを2回押します。ブラインドが上限位置まで上がります。



下限

下限設定を確認するにはクローズボタンを2回押します。ブラインドが下限位置まで下がります。

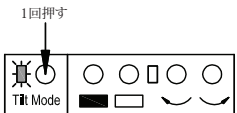


ブラインドを上下限位置まで再度動かして揺れが止まったら、ブラインドが吊り下がっていて自由に動くことを確認します。必要に応じて上下限設定の作業をやり直します。

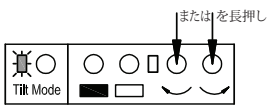
5.4 自動設定モードによるスラットの最大傾斜角度の設定

隣り合うブラインドどうしてスラットを常に同じ角度に保つには、最大傾斜角度の調整が必要になることがあります。自動設定モードなら、水平状態からの上向き・下向きの最大傾斜が既定の角度に設定されます。これにより、隣り合うブラインドどうしてスラットの最大傾斜角度が同じになり、常に統一感を持たせることができます。

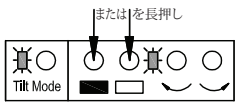
A. 傾斜モードボタンを1回押します。オレンジLEDが点灯します。



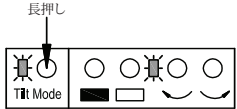
B. スラットが水平状態になるまでいずれかの矢印ボタンを長押しします。



C. オープンボタンまたはクローズボタンのいずれかを1回押します。グリーンLEDが点灯します。



D. 傾斜モードボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したら、上向き時・下向き時両方の最大傾斜角度が記憶されます。

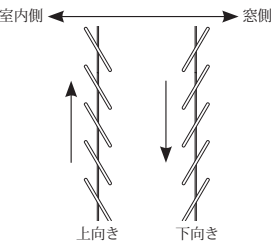


NOTE: 自動設定モードで最大傾斜角度を設定した場合は、上向き・下向きを問わず最大傾斜角度になったときに、一番上のスラットがヘッドレールに当たっていないことを確認してください。

5.5 手動設定モードによるスラットの最大傾斜角度の設定

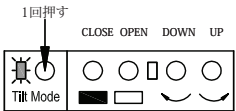
手動設定モードでは、スラットの上向き・下向きの最大傾斜をユーザーが定めた角度に設定することができます。

NOTE: 上向き・下向きを問わず最大傾斜角度になったときに、一番上のスラットがヘッドレールに当たらないようにしてください。スラットの向きとは、ブラインドの室内側でスラットの端が向いている方向のことを指します。

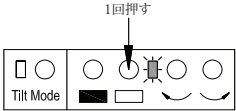


上向き時の最大傾斜角度の設定

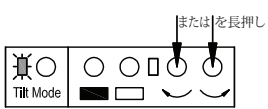
A. 傾斜モードボタンを1回押します。オレンジLEDが点灯します。



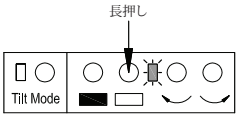
B. オープンボタンを1回押します。グリーンLEDが点灯します。



C. スラットがお好みの上向き角度になるまでいずれかの矢印ボタンを長押しします。

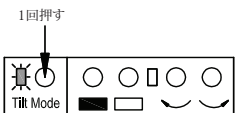


D. オープンボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したら、上向き時の最大傾斜角度が記憶されます。

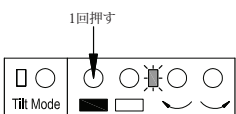


下向き時の最大傾斜角度の設定

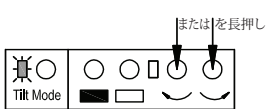
A. 傾斜モードボタンを1回押します。オレンジLEDが点灯します。



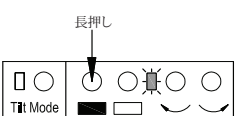
B. クローズボタンを1回押します。グリーンLEDが点灯します。



C. スラットがお好みの下向き角度になるまでいずれかの矢印ボタンを長押しします。



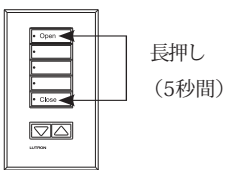
D. クローズボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したら、下向き時の最大傾斜角度が記憶されます。



6 有線のブラインドの割り付け

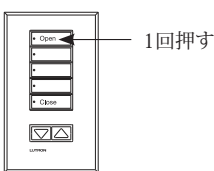
6.1 設定モードの開始

オープンボタンとクローズボタンを5秒間同時長押しし、設定モードに入ります。この時、既に割り付けられているブラインドは、下限位置まで下がります。割り付けられていないブラインドは、上限位置まで上がります。



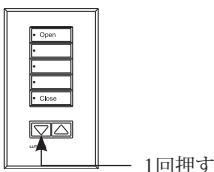
6.2 ブラインドの選択

オープンボタンを1回押します。選択中のブラインドが上下に動きます。(もう一度オープンボタンを押すと、次のブラインドが選択されます。クローズボタンを押すと、選択が逆回りになります。)



6.3 ブラインドの割り付け

下矢印ボタンを押すと選択中のブラインドが下限位置まで下がり割り付けが完了します。(上矢印ボタンを押すと割り付けが解除されます。)

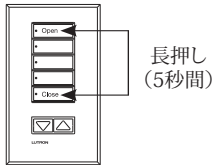


6.4 ブラインドの追加割り付け

必要に応じてステップ7.2と7.3を繰り返し、ブラインドを追加で割り付けます。

6.5 設定モードの終了

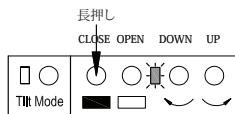
オープンボタンとクローズボタンを5秒間同時長押しし、設定モードを終了します。



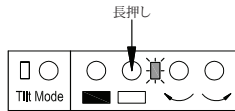
7 工場出荷時の状態へのリセット

この操作によってすべてのRFリモコンの割り付けが解除されます。ただし、上下限位置は保持されます。

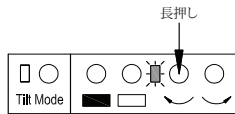
A. クローズボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したあと点灯したら離します。



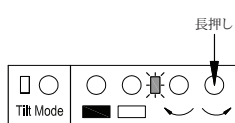
B. オープンボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したあと点灯したら離します。



C. () ボタンを長押しします。グリーンLEDが点滅したあと点灯したら離します。



D. () ボタンを長押しします。LEDが多色点滅したらボタンを離します。多色点滅は出荷時の状態にリセットされたことを示しています。



8 トラブルシューティング

症状	原因
EDUの操作ボタンを押してもブラインドが動かない	EDUの電源が入っていない - 電源プラグを差し直して電源が入ったことを確認する。電源が入るとLEDが5秒間点滅する ブラインドの動きが妨げられている - 障害物を取り除く
ブラインドが上限・下限まで到達しない	上下限設定が間違っている - セクション5を参照 ブラインドの動きが妨げられている - 障害物を取り除く
RFリモコンを押してもブラインドが動かない	電波が届いていない - 受信部から9.1 m以内の場所で操作 EDUがリモコンに割り付けられていない 電波圏内にあるEDUに受信部が装着されていない リモコンの電池残量が少ない、もしくはは空になっている - 電池を交換
EDUが動かず、LEDが赤くゆっくり4回点滅したあとで4秒間消灯する	EDUが最大稼働時間に達している - 20分経ってからもう一度動かしてみる
EDUのLEDが赤く点灯したままになっている	EDUが通信を確立できていない - 配線を確認
EDUのLEDが青く高速で点滅している	正常に動作するだけの電力がない - 電源の取扱説明書を参照し、電源が正しく設置されているか確認 EDUはAC電源に対応 - QSPS-P1-10-60など24Vの正規電源を使用する
キーボードを押してもブラインドが動かない、または適切な高さにならない	上下限設定が間違っている - セクション5を参照 設定方法についてはキーボードの取扱説明書を参照
ヘッドレールやスラットが水平にならない	ブラケットが水平になっているか確認し、必要に応じてスパーサーを挟む
ブラインドが窓の中央にこない	ブラケット内でヘッドレールを左右にずらす
ブラインドがスムーズに動かない	障害物がないか確認
隣り合うブラインドと位置が揃わない	ブラケットの高さを調整して位置を揃える 必要に応じてスパーサーを挟む
スラットが操作と違った方向に傾く	ヘッドレール底面の操作ボタンが窓側でなく室内側を向いているか確認する 昇降コードが正しい方向に巻かれているか確認する。ブラインドを上げる際に、昇降コードがヘッドレールの前面側から引き上げられているか目視で確認する

Worldwide Headquarters | USA
Lutron Electronics Co., Inc.
7200 Suter Road
Coopersburg, PA 18036-1299 USA
TEL: 1.610.282.3800
FAX: 1.610.282.3090
Technical Support: 1.800.523.9466
Toll Free: 1.888.LUTRON1
EMAIL: shadinginfo@lutron.com
WEB: www.lutron.com/shadingsolutions

Europe Headquarters | United Kingdom
Lutron EA Ltd
6 Sovereign Close
London, E1W3JF, UK
TEL: +44.(0)20.7702.0657
FAX: +44.(0)20.7480.6899
Technical Support: +44.(0)20.7680.4481
FREEPHONE: 0800.282.107